

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会が10月11日、千代田区竹橋のKKRホテル東京で開催された。

冒頭の村松泰子日本教育大学協会長（東京学芸大学学長）の挨拶では、「今年度内に国立大学改革基本方針を定める方向が打ち出されており、特に教員養成については早い時点でミッションの再定義が行われる情勢になっている。また、8月末の中教審総会で教大協にとって大変関係の深い答申が2本出された。一つは、学び続ける教員像を打ち出した、教員養成・採用・研修の一体的な改善に関する答申である。もう一つの答申は、大学の学士課程教育の質的転換をはかり、主体的に学ぶ学生たちを育てていくための大学教育がどうあらねばならないかを、私たちの課題として提起している。一方、学校現場を見るとふたたびいじめの問題がクローズアップされている。こういう問題に対して教員養成課程でどのように対応していくのかという問題がある。さらに、第2期教育振興基本計画の審議経過報告が8月の下旬に出ている。これについては、教大協に対しても意見照会がきている。このように沢山の政策課題を抱えており、教大協は、それらについて提言活動をしていく組織として、今後益々積極的に取り組んでいかねばならないと思っている。」と述べた。

引き続き、池田貴城高等教育局大学振興課長から①「教員の資質能力向上に係る当面の改善の実施に向けた協力者会議について」、②「平成25年度概算要求について」、③「大学入学者選抜の改善をはじめとする高等学校教育と大学教育の円滑な接続と連携の強化のための方策について」、④「ミッションの再定義について」、藤原章夫初等中等教育局教職員課長から①「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針について」、②「平成25年度概算要求について」、③「教員免許更新制について」、橋田裕初等中等教育局教育課程課教育課程企画室専門官から「学習指導要領における言語活動の充実について」、森友浩史生涯学習政策局政策課教育改革推進室長から「教育振興基本計画について」、伊藤賢生涯学習政策局参事官付情報政策室長から「全国生涯学習ネットワークフォーラムについて」の説明があり、説明後には活発な質疑応答が行われた。

休憩後は、村松会長から当日に行われた理事連絡会の報告があった後、各委員会の審議状況について各委員長等から報告があった。その後、各大学から提案された議題及び教員養成を取り巻く状況について意見交換を行った。

また、夕方には同会場で情報交換会があり、本間謙二副会長（北海道教育大学学長）と板東久美子高等教育局長の挨拶に続いて、松田正久議長（愛知教育大学学長）の音頭で乾杯となり、大いに歓談し親睦を深め、金本正武附属学校委員長（千葉大学教育学部教授）のリードで「ふるさと」を全員で唱和し閉会となった。



村松会長



左から松田議長、本間副会長、村松会長
加藤副会長、勝山事務局長



施策説明をする文部科学省関係者
左から藤原教職員課長、池田大学振興課長



施策説明をする文部科学省関係者
左から伊藤情報政策室長、森友教育改革推進室長
橋田教育課程企画室専門官



文部科学省の説明に聞きいる各学長・学部長等

《情報交換会》



本間副会長



板東高等教育局長



松田愛知教育大学長の音頭による乾杯



左から勝山事務局長，常盤大臣官房審議官
高木横浜国立大学学部長



左から関口総務課長，栢森教員養成企画室専門官
藤岡教職員課課長補佐，村松会長，藤原教職員課長
松田愛知教育大学長